

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371600426
事業所名	グループホームふれんど

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	運営推進会議に出席した民生委員から地域行事の案内を受け、職員の都合がつかない範囲ではあるが地域行事に参加している。利用者や職員とが参加する日曜日のゴミ拾いは、継続して取り組んでいる。ホーム周辺は商業地区であり、ホーム主催の防災訓練に地域の方の参加はない。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	2ヶ月に1度の運営推進会議には、家族代表、行政（地域包括支援センター職員）、民生委員等が参加し、活発な討議・意見交換を行っている。将棋を趣味とする利用者の相手探しに困っていたが、運営推進会議に参加した家族から「友人の小学1年生の男の子では」との話がまとまり、利用者や小学生が対戦することとなった。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	生活保護受給者が7名入居していることから、区の生活保護係とも強い連携を図っている。電話にて空き情報の照会があったり、生活調査にホームを訪れた区の担当者が入居相談をしていく等、日常的なつきあいがある。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	運営推進会議で職員研修の報告があり、家族の学びの場となっている。身体拘束の研修報告では、「スピーチロックを初めて知った。」との家族の言葉があった。毎月ユニット毎に「グループホームふれんど通信」が発行されており、ホームでの利用者の様子を家族に伝えている。ホーム行事（夏まつり、遠足等）には、家族の参加がある。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	